

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成24年度採択課題）

中間評価結果

| 番号 | 研究名 | 研究代表者 | 評価 |
|------|--------------------------------|---------------------|----|
| 24-5 | 歩行者の表情・しぐさを利用した空間評価指標についての研究開発 | 埼玉大学大学院 教授 久保田 尚 | C |

<研究の概要>

歩行者の心理を正確に反映した街路歩行空間の評価手法を確立するため、外部から観察可能な歩行者の笑顔や行動を評価基準とする指標を確立し、その指標を用いて映像解析技術から自動的に指標値を算出するシステムを提案する。

<中間評価結果>

平成24年度の研究成果は、期待したレベルに到達していない。今後は、最終的な研究成果を、実際の歩行空間の評価に活用するための具体的な道筋を明確に示すことが必要である。このことから、修正内容を踏まえて研究計画を修正する必要がある。

<修正内容>

1. 歩行者天国の実施の有無などのような極端な状況変化を分析するのではなく、一般的な街路デザインの差異が評価できるよう、実験の計画を見直すこと。
2. 今後の実験においては、笑顔度算出の自動化を図った上で、数多くの事例データを取得し、統計的な分析を行うこと。分析においては、歩道の構造や自動車の走行状況に加え、街並みとの関係を整理するなど、応用的な活用も検討すること。
3. 笑顔度算出のメカニズムと笑顔度の数値の持つ意味を、わかりやすく説明すること。
4. 本研究成果を、デザインコードや費用効果分析への適用など、どのような形で実務に反映させるのか、その具体的な道筋を提示することを、平成26年度の継続実施の条件とする。